

国の特別天然記念物「ニホンカモシカ」を知ろう 宮崎発！「カモシカすごろく」訪問授業

子ども教育学科生 大分県竹田市・南部小で25日

このたび、南九州大学子ども教育学科の遠藤晃教授(理科教育・生態学)と学生たちが、大分県竹田市の南部小学校(吉岡次郎校長)で、ボードゲーム「カモシカすごろく」を使った訪問授業を実施します。

同小学校の周辺地域は、大分県と宮崎県にまたがる「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」であり、すごろくに登場する国の特別天然記念物「ニホンカモシカ」の生息地としても知られています。豊かな自然の象徴でもあるカモシカですが、ニホンジカとの競合などで生息数は激減しており、九州地域では絶滅が危ぶまれる状況にあります。授業では、カモシカを取り巻く厳しい現状を子どもたちに知ってもらうことはもとより、地域の課題解決を目指すために考え、行動する「探究学習」の面白さにも触れる機会にしたいと考えております。

つきましては、授業を下記の日程で行いますので、ぜひ取材のご検討をお願いいたします。

記

日時 2024年9月25日(水) 10:30~12:05
場所 大分県竹田市 南部小学校
(大分県竹田市君ヶ園1014)
参加者 南九州大学子ども教育学科 遠藤晃教授
学生5人(うち大分市出身者1人)
南部小学校4年生 25人

■九州のニホンカモシカの現状

九州に生息するニホンカモシカの推定数は、1995年に約2,000頭でしたが、2020年にはその10分の1の約200頭まで減少しています。中でも大分県の推定数は7~28頭と、個体群の維持が危惧されています。

■「カモシカすごろく」について

本学と連携協定を結ぶ宮崎県綾町で2022年に実施された集中講義の中で、学生が考案、制作したボードゲーム。ゲームを通じて、子どもたちのカモシカに対する興味関心、保護意識を醸成するだけでなく、探究学習、「持続可能な社会の担い手を育てる教育(ESD)」の推進など、総合的な達成を目指す取り組みです。

【本件に関するお問い合わせ】

南九州大学 子ども教育学科 遠藤
〒885-0035 都城市立野町 3764 番地1
TEL :0986-21-2111 (代表番号)

【発信元】

南九州大学 経営戦略課
〒880-0032 宮崎市霧島5丁目1番地2
メール:koho@nankyudai.ac.jp